

第79回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】－1 米の生産調整（減反）について

コロナの影響で、日本国内の米が約30万トン余ってしまっているとニュースで聞いた。実際に、私も出荷の割り当てを減らされている。今後さらに状況が厳しくなったときに、国等へ補助金を要請するなど考えてほしい。

⇒【村長コメント】

今年度の村の稲作の実態を把握していない。出荷の割り当てが減り困っているなど、同じような状況の農家がいるか等、まずは実態を把握する。

⇒【農業政策課コメント】

ご意見をいただいた「米の生産調整」につきましては、毎年需要に応じた米生産への取り組みのご協力を農家の皆様をお願いしているところです。

主食用米の需要量は、毎年減少を続けている中、稲作農家の経営安定のためには、国全体で需要に応じた米の生産に組み、需給のバランスを保つことが重要です。特に令和3年産については、新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用の消費が大幅に落ち込んだことから米の在庫が増加しており、米価の下落が懸念されております。そのため、米価の安定に向けて全国で過去最大規模となる主食用米からの作付転換が必要な状況となっております。

本村といたしましても、国や県の方針で示された市町村別の令和3年産米の生産数量目標値を基本とし、水田の種目別に水稻配分率を設定した上で、主食用米とその他非主食用米等への作付転換等、各農家それぞれの生産数量目標値をお示ししているところであり、皆様のご理解とご協力により、需要に応じた米生産の取り組みを図っております。

また、国等の補助金につきましては、現行の制度を十分に活用することはもちろんですが、新しい制度が設定された場合にも、農家の皆様に丁寧な説明と活用に向けた支援を行っていきたいと考えており、国や県の動向を注視していきたいと考えております。

なお、ご心配な点やお困りな点等がございましたら、農業政策課までお問い合わせください。今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

【1】－2 農業の後継者の育成について

農業の担い手不足を心配している。小学生や中学生に対して、農業を体験できる機会をつくってほしい。

⇒【村長コメント】

「農業＝大変」というイメージを変えていくことは大切だと思う。村では現在、照沼小学校・とうかい村松宿こども園において、その地域性を生かし、毎年、田植え体験を行っている。

【2】 村松小西側（108階段上）への信号機の設置について

子どもたちの通学路である村松小西側（108階段上）に信号機を設置してほしい。この道はこれまで車は通れなかったが、整備により通れるようになった。学校の先生や保護者が自主的に見守りを行っているが、安全を考慮し、信号機の設置を検討してほしい。

⇒【村長コメント】

規制のための信号の設置はハードルが高いが、押しボタン式であればつけられる可能性がある。信号機が設置できなくとも、横断歩道としたり、車を減速させたりするような整備が必要だと思う。警察や関係各課と調整し、今後の対応について後日連絡する。

⇒【区画整理課・学校教育課コメント】

日頃より、区画整理事業へご協力をいただきありがとうございます。

ご要望のあった信号機設置でございますが、現在、多くの村松小児童が勝木田下の内線を横断して登下校していることについては確認しております。勝木田下の内線開通前に信号機を管理しております警察へ信号機設置要望をいたしました、「開通後の交通量を見てから信号機設置の検討をする。」との回答で、児童の横断の際には地元の方々に立哨等をご協力していただきたいとの事でした。

現在も、教職員や保護者の方が立哨を行っているところですが、今後は、交通量の状況確認や、東海村通学路交通安全プログラムに基づく合同点検の実施など、安全確保ができるよう関係機関と調整して対策をしていきたいと考えております。

【3】－1 原子力の平和利用について

東海村は日本で最初に原子の火が灯った村である。原子力の平和利用を推進していこうと考えているか。

⇒【村長コメント】

村内には、原子力に関する最先端の研究を行う施設がある。原子力が社会に貢献できることは大いにあると考えている。

【3】－2 教育現場等でのパソコンの使用について

ニュースで、パソコンを使った教育を開始すると聞いた。教育現場はもちろん、その使用範囲を家庭にも広げてほしい。

⇒【村長コメント】

村内の小中学校に一人一台のタブレット端末の整備を終えた。通信環境などの問題はあがるが、ゆくゆくは家庭でも使用できるようにしていく。

【3】－3 英語教育の推進について

小学校の英語学習において、英語圏の先生が日本語を使わない授業を実施してほしい。

⇒【村長コメント】

村では、公立の幼稚園・保育所・こども園、小・中学校にNLT（外国語指導講師）を配置し、就学前から英語に触れられる機会を設けている。

【3】－4 南台中央公園の遊具や設備について

南台中央公園の遊具が、整備後にブランコ、鉄棒がなくなり、滑り台だけになってしまった。また、ベンチが老朽化し、使える状態になく、照明も錆がひどく夜点灯していない。防犯ライトが点灯しているため、照明は撤去してもいいのではないか。

⇒【村長コメント】

遊具が減らされてしまったことや、設備の状況について確認する。

⇒【都市整備課コメント】

遊具の定期点検は1年に1回、専門業者に委託し実施しております。令和元年8月に実施した定期点検により、滑り台のすべり面に劣化、また人体頭部・胴体の挟み込み等の現行安全規準上の不適合箇所があることから撤去しました。併せてブランコについても全体的に劣化が進んでいることから撤去いたしました。今後、遊具を撤去する際には、事前に撤去時期についてお知らせをする看板を現場に掲示します。

滑り台以外の遊具の新設については、周辺の公園の遊具設置状況とのバランスや自治会要望等を考慮し、検討していきます。

なお、今回の南台中央公園の滑り台・ブランコの撤去については事前に自治会長に伝え、了解をいただいた上で作業を行っております。

【3】－5 東海村民憲章の活用について

東海村民憲章は素晴らしい内容だと思う。学校等に掲示するなど、積極的に活用してほしい。

⇒【村長コメント】

行事等で唱和する機会を設けている。ご意見として伺う。

【4】自治会加入促進について

水戸市では市の宅建協会・県宅建協会と協定を締結し、加入する不動産業者に不動産や賃借の仲介時に自治会への加入案内をお願いしている。東海村でもこのような取り組みを行ってほしい。

また、自治会に加入していない方は、自治会からの情報が何も得られない。このため、公園等に掲示板を設置し、自治会からのお知らせを掲示するスペースを作ることはできないか。

⇒【村長コメント】

不動産業者と会う機会があるので、打診してみる。掲示板の設置については、村内全ての自治会との調整もあるため、この場でできるとは言い切れない。ご意見として伺う。

【5】－1 トレーニング室について

2月20日のふれあいトークに参加し、その回答をHPで確認した。機器が頻繁に壊れることが利用者の使い方やマナーにあるという指摘に対し、「全方位撮影・音声機能付き」の監視カメラを導入したということだが、カメラでは追いきれない。また、施設巡回等を行う臨時職員を1名増員し2名体制にしたとのことだが、トレーニング中ではなくトレーニング終了時間に確認にきている状況である。可能であれば、ふれあいトーク終了後に機器の状態を直接確認してほしい。

⇒【村長コメント】

現在、機器の入れ替え時期ではなく、今後どのようにリニューアルしていくかも決まっていない。機器の状態については、ふれあいトーク終了後に確認し、後日連絡する。

⇒【村長コメント（追記）】

ふれあいトーク終了後にトレーニング室の状況を確認した。機器がテープで補修されているなど劣化しており、利用者の方が不便に感じていることは理解した。予算等の面から直ぐに対応することは難しいが、機器の更新について今後検討していきたい。

【5】－2 自治会について

自治会でごみ収集に関する費用を捻出しているが、どのような費用に充当されているのか。また、自治会から脱会した後でも自治会ごとにルールを設ければ集積所を使用することは可能なのか。

⇒【村長コメント】

自治会で負担している費用としては、集積所に係る管理や設置に係るものであり、ごみの収集に関する運搬・人件費等については村が負担している。脱会後の集積所使用については、自治会または班ごとにルールを決めて行っている例も見られる。

【6】－1 村松幼稚園にある掲示物について

村松幼稚園の裏門付近にある掲示物に音符が描かれているが、音符が五線から外れており、間違った位置にある。正確に描くのであれば、線を追加して表示する必要がある。以前、幼稚園の先生に会ったので指摘したところ、納得されていた様子だったが、その後修正されていない。

⇒【村長コメント】

修正するよう対応する。

⇒【子育て支援課コメント】

村松幼稚園において、加筆対応いたしました。

【6】－2 自分ごと化会議参加者の抽出方法について

自分ごと化会議参加者の無作為抽出の対象年齢が75歳までとなっており、75歳以上の意見が排除されている。

⇒【村長コメント】

自分ごと化会議の運営を委託している「一般社団法人構想日本」が全国で実施した先行事例を参考に抽出方法を考えている。18歳から10歳階級ごと1,000人からの抽出と考えたときに60歳から75歳という区切りとなった。また、会場まで来てもらうことへの負担を考慮している。

【6】－3 東海病院の間診票について

東海病院の間診票の欄に「職場や家族で新型コロナウイルスに感染した人がいるか」「PCR検査を受けた人はいるか」という問いがあるが、第三者に見られてしまう可能性がある。記載する必要があるのか。

⇒【村長コメント】

院内感染を防ぐためには、最初の段階で聞き取る必要がある。

【6】－4 スクランブル交差点について

ひたちなか市の長堀小東交差点（押しボタン式）が「歩車分離式信号」でスクランブル交差点となっている。東海中学校付近の交差点で信号待ちをしている中学生が多く、危険を感じるため、ひたちなか市のようなスクランブル交差点にしてほしい。

⇒【村長コメント】

歩行者と自動車等の交通量などの調査が必要となる。歩車分離式信号をスクランブル交差点にすることが可能かどうかを確認し、後日連絡する。

⇒【環境政策課コメント】

日頃より交通安全行政につきまして、ご協力いただきありがとうございます。交差点のスクランブル化につきましては、警察が管理している業務となりますので、村からひたちなか警察署へ要望を提出させていただきます。ひたちなか警察署から回答され次第、村ホームページ「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント集へ追記するほか、回答内容を改めてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

【7】－1 神楽沢橋の交通量について

神楽沢橋の道路の交通量調査はしているのか。また、橋の上からゴミを投げられたり、人が落ちてしまったりしないよう、確認と安全対策をしっかりと行ってほしい。

⇒【村長コメント】

交通量調査はまだ実施していない。これからスーパーなどが出来ると交通量も増えてくる。どこかのタイミングでモニタリングを実施していく必要はある。

【7】－2 歴史と未来の交流館について

歴史と未来の交流館の展示物は何点あり、どのような展示物があるのか。

⇒【村長コメント】

担当課に確認し、後日回答する。

⇒【生涯学習課コメント】

歴史と未来の交流館には、「展示室1」「展示室2」「企画展示室」の3つの展示室があり、主に展示室1・2において村の歴史と自然の特徴について展示します。

交流館に収蔵している展示資料（実物資料）は、現状で6,000点ほどあり、内容は、化石、石器、土器、埴輪、須恵器、陶磁器、装身具、古文書、民具、硯など多岐にわたっています。

開館当初の主な展示物（実物資料）は、翡翠製大珠、土偶、縄文式土器、埴輪、須恵器、陶磁器、古文書など約60点となり、主に展示室2で展示します。